

長町中 伝統の体育祭

若き血潮の もえたちて

本校伝統の体育祭が明日に迫りました。この季節が近づくと、校庭からは体育の時間の盛り上がる声、ダンス練習の全校生徒の熱気、教室からはTシャツづくりの真剣さ等、学校じゅうがこの行事一色となります。学校全体が何かに向けて一つになれるのは、学校行事の特色であり、長町中学校の特色です。

長町中学校は、7月の合唱コンクール、9月の体育祭が大きな特色になっていて、伝統にもなっています。先日、地域に住んでいる仙台市内の元中学校の校長先生だった方とお話しする機会がありました。皆さんがダンス練習に取り組む姿を見ながら、「全校生徒がこんなふうにダンスの練習に打ち込んだり、一生懸命になったりする姿は素晴らしいね。合唱コンクールにもあんなふうに取り組んだりしている学校は、他にあまりないよね。」とお褒めの言葉をいただきました。そして、「生徒さん達は、自分の学校しか知らないから、きっとこれが当たり前だと思っているだろうけど、決してこれは当たり前ではないとても価値ある姿だと思う。」としみじみと話されていました。とても嬉しいですね。

私は、平成24年の4月に教頭として長町中学校に初めて赴任しました。そして生徒達が合唱コンクールに取り組む姿、体育祭に打ち込む姿、そしてその盛り上がりにとっても驚き、感動した事を思い出します。しばらく長町中を離れていましたが、昨年度、校長として再び長町中学校に戻ってきた時も、変わらぬ生徒達の姿、そして進化し続ける生徒達の姿がとても清々しく、嬉しく思いました。それと同時にこの姿はやはり当たり前のものではないとつくづく思います。

確かに、一つ一つの学校に、合唱コンクールがあり、体育祭があります。そして素晴らしい特色があり、その学校の教員として職務している時は、その学校が最高だと思って勤務してきました。そしてこれまで勤務してきた学校の生徒達、学年の生徒達、クラスの生徒達が最高だと思っています。それは今も変わりません。

しかし、合唱コンクールも体育祭も、これ程の情熱を持って生徒達が積極的になれる学校は、ありませんでした。それはきっと本校の生徒達の素晴らしさや保護者の方々のご支援、生徒達の意欲を引き出してくれたこれまでの、そして現在の教職員が一体となっているからこそだと思います。

皆さんが下校した後、先生方が何度も打合せしながら校庭の整備をしたり、写真撮影の位置を綿密に確認したりしています。皆さんが自主的に活動する体育祭を成功させたいという気持ちが大きいと思います。それはきっと3年生の生徒達が、自分達でダンスの振り付けを考え、下級生に指導しながら、縦割りの大グループで一つの作品を完成させようと努力している姿を見ているからこそであり、そして、下級生達が、来年はそれ以上のものを引き継いでいくと信じているからこそだと思います。

昨年も、雨で水たまりが出来ていた校庭を多くの生徒達と教職員で水取りしている姿がとても印象的でした。これも本校の宝なのだと思います。

令和最初の体育祭です。素晴らしき行事になるように、互いを励ましながら、しかも批難することなく、楽しみましょう。